

# 子どもへの職業体験・インターンシップの紹介

## ☰ 概要

### ◇概要

職業体験・インターンシップの紹介サービス。

また、それらの経験を経歴と見做し就職の際に活かせるような仕組みを備える。

### ◇詳細

サイトを通じて、職業体験・インターンシップを紹介するサービス。

企業は学習・就業支援として、子ども向けの職業体験やインターンシップのような就労経験を積むことができる場を提供する。

子どもは職業体験を入口とし、高校生以上であればインターンシップへ参加する。

ここでのインターンシップは、選考および採用を見据えた半ば企業説明会のような短期インターンシップではない。

人材の育成に重きを置いた比較的長期のインターンシップで、社会経験として基礎的なスキルやマナーを学べ、かつその業界で必要とされるスキルも学ぶことができる。

このサービスを通じて経験したインターンシップは経歴や資格のような意味合いを持つ。

### ◇子どもの貧困対策へ向けて

紹介される職業体験・インターンシップは一定の水準をクリアしたものとし、ある程度経験を積むことで履歴書に記載できる職歴や資格とする。

インターンシップ内で一定程度の教養や専門性を得て、それを客観的に評価される職歴や資格のようなもので明示し、学歴で就職先が狭められる可能性を小さくする。

貧困による教育及び学歴の差・経済格差を、企業側から歩み寄る形で解決を図り、それでいて企業にも確かなメリットがあり長期的に継続できるような仕組みとしたい。

1. 長期のインターンシップは子どもたちの学業とどのように並行させる予定でしょうか？学校の課程との兼ね合いが問題になる可能性があります。

→高校生以上が行うアルバイトの位置づけとする予定。学業の妨げにならないことを第一に、テスト期間や学校のイベント、長期休暇などを配慮することを前提とする。

2. 経験を積んだ結果、複数の職種における体験を持つ子どもたちが各々のインターンシップ・職業体験の評価をどのように取扱われるのか、そこに統一性や等価性を保つための基準は何でしょうか？

3. 経験値やスキルを客観的に評価し、それを履歴書に記載できるものにするには、どのような標準化された評価体系や制度が必要となるでしょうか？具体的な仕組みが欠かせません。

→どの企業でも求められる一般的なスキル、例えばコミュニケーションに関するものや仕事の進め方の習得などの新社会人が入社研修で学ぶような事柄は、一定程度基準を設けることができると思われる。

各業界ごとに求められるスキルは課題となる。IT分野であればプログラミングのスキルは客観的な評価が可能かもしれないが、接客やニッチなスキルとなった時、それを社会で評価してもらえるよう基準を作るのはかなり難しい。

4. 子どもたちの親や保護者、学校からの理解や協力を得るためのアプローチは何が考えられますか？このプロジェクトの成功は、その周囲の理解や協力に大きく依存すると考えられます。

→従来のアルバイトやインターンシップと同等の位置づけになり、今までアルバイトが許可されていた学校等ではサービスの利用は難しくないと考える。アルバイトが禁止されているような場合でも、就労経験を積むという意味合いを強め学習の一環であることを明確にすれば、ある程度理解が得られるのではないかと推測する。

募集する企業側も、こういった条件でインターンシップを実施するのか、給料等も明確にし、情報の開示に努めるようにする。

5. 子ども向けの職業体験やインターンシップを提供する側の企業にとってのメリットは何でしょうか？企業にとって明確なインセンティブが必要です。

→職業体験・インターンシップを通じて、子どもが業界へ興味を持つきっかけを得られる。

インターンシップに参加したからその企業に就職するといったように、逆に選択肢を狭めることになってはならないため直接的な採用と結び付くことは防ぐ必要がある。日本経団連の倫理憲章にあるように、「(インターンシップの)実施にあたっては、採用選考活動(広報活動・選考活動)とは一切関係ないことを明確にして行うこととする。」とし、あくまで人材育成に重きを置くものとする。

## 解決したい課題：アイデアで解決したい課題は何で、それをどうしたいですか？

貧困による教育・学歴の差により将来の可能性の幅が狭まることを阻止したい。  
それを、企業が長期的に支援できるような仕組みで実施したい。

## 解決方法：課題をどうやって解決しますか。骨子を記載ください。

誰でも参加可能な職業体験やインターンシップとして、社会で生きるスキルを学ぶ場を企業が提供する。  
子どもはその経験を一定の水準の下、社会が評価できる職歴・資格とすることができ、就職の際に活かせるようにする。  
在学中であっても、インターンシップで給料を得つつ社会で生きるスキルを学ぶことができる。

## 類似（独創性）：現在、このアイデアと類似する仕組みがあれば記載ください（検索してみてください）

アルバイトやインターンシップの募集サイトは存在するが、職歴や資格のように評価するサービスについては見つからなかった。

## 有意性：既に存在する類似の仕組みと比べて、どこが優れていますか（存在している場合のみ記載ください）

## 実現方法：どのように実現するか、できるだけ具体的に記載ください（ファイル添付も可）

既存の求人サイトのような形式を想定。

掲載する際に企業から一定の掲載料を貰う。子ども(応募側)の利用料は無料とする。

様々な業界があることを知るページを設けたり、応募者に合う業界を見つける手助けとなるフローチャート(あるいは対話型AIのようなシステム)を取り入れる。

## 課題・障壁：実現する上で課題となることは何ですか、それをどうやって克服しますか

利用者の多くは未成年であり、企業側は法律等により様々な制約を受けることとなる。ある程度のスキルを大学や専門学校で身に着けた人材と比較した時、子どものインターンシップを受け入れるメリットの確保が課題となる。

本サービスへ賛同しインターンシップを受け入れていることが、社会で評価されるような仕組みを作れると、尚良いかもしれない。

また、職歴や資格のように評価する時、業界ごとの固有スキルの評価が課題となる。

各業界に関連する資格などを参考に基準を決めることができる可能性がある。

## 期間・コスト：実現に必要な費用と期間はどれくらいでしょうか。初期リリースとそれ以降など記載ください

一般的な求人サイトの開発費に加え、職歴や資格のように評価する基準の作成が必要となる。

また、運用保守に関する費用が必要となる。

多くの業界に参加してもらいどんどんと拡大させていくことを想定している。

## 未来像：実現したとき、人々がどのように恩恵を受けて幸せになれるか、理想像をお書きください

子どもは学業の傍らインターンシップで社会で生きるスキルを学ぶことができ、専門性の求められる業種であったとしても経験を活かして従来より学歴に左右されることなく職業を選択することができる。

企業も子どもに学習・就業支援を続けながら、将来業界で働く人材の確保を望むことができる。